

6月定例会 一般質問要旨



市内に居住する外国人に守って もらうルールやマナーの周知と 外国人のお墓事情について



日本共産党 石井 ひろみつ

議員 本市における過去3年間の土葬に関する相談件数を伺います。

企画部長 過去3年間については、土葬に関する相談はありません。

議員 土葬に関する相談がないとのことですが、調査不足と感じます。外国人のお墓が不足しているなどの現状について把握されているか伺います。

企画部長 現状については把握していませんが、相談があれば親切丁寧に対応していきたいと思えます。



議員 八王子山公園墓地の利用状況と、国籍による取り扱いについて伺います。

行政事業部長 八王子山公園墓地は3,699区画あり、現在全て埋まっています。

また、条件を満たしていれば、国籍にかかわらず利用することができます。

議員 土葬が必須であるイスラム教徒は、県内でのお墓の確保が困難な状況です。宗教に関係なく土葬可能な墓地の建設について、市長の所見を伺います。

市長 土葬可能な墓地の建設については、土地の確保や周辺住民の理解など課題が多く、自治体レベルでは難しいと考えます。宗教性のある問題なので、国や宗教団体などで検討を進めていくべきであると考えます。

議員 持続性・継続性が求められる墓地は公共性が高い施設であり、本市を含め行政が整備を進めるべきであると考えますが、所見を伺います。

市長 市としてできる範囲のことはやっており、墓地の増設も検討していますが、難しい状況であると考えます。

■その他の質問
・水害時における避難や避難所の在り方について



学校教育におけるジェンダー平等・ LGBT・SOGI / 性的少数者の人権 保障について



日本共産党 水野 正己

議員 過去3年間の市立太田中学校の入学選抜試験における、入学者の男女別の平均点を伺います。

教育部長 令和元年度は男子が300.9点、女子が315.9点。2年度は男子が300.5点、女子が318.7点。3年度は男子が326.2点、女子が330.3点でした。

議員 女子の入学者が多いため、来年度から男女別の定員を設けるとされます。性別で合格ラインに差が付くことはジェンダー平等に逆行する大問題ですが、所見を伺います。

教育部長 男女が同数程度であることで、性差についての理解や異性を尊重する態度を育むことができ、このことがジェンダー平等に逆行するとは考えません。

議員 性別に関係なく使える多目的トイレの整備が必要です。また、性別を類推できる名前で呼ばれることに抵抗のある人もいます。人権が保障される環境づくりが必要ですが、教育長の所見を伺います。
教育長 教職員が状況をしっかり見極め

ることが大切と考えます。
議員 太田中学校の男女別の定員は当然撤廃すべきですが、加えて義務教育課程の公立学校での選抜試験の是非や、学校の存続意義について所見を伺います。
教育長 子どもたちが強い希望を持って入学できるよう、公正、公平な選抜試験を行っています。太田中学校は先進的な取り組みを通じて他の中学校にも良い影響を与えており、特色ある学校づくりは本市にとって今後も有益と考えます。



■その他の質問
・公契約の果たす役割と責任について
・新型コロナウイルスに関するワンストップセンター設置について



本市のスポーツ行政について



創政クラブ 久保田 俊

議員 群馬クレインサンダーズの本拠地移転など、スポーツで本市を盛り上げる環境が整いつつある今、さまざまな競技団体を巻き込んだスポーツコミッションの設立により、さらなる活性化が図られると考えますが、所見を伺います。



文化スポーツ部長 スポーツと観光を組み合わせたスポーツツーリズムや大規模スポーツ大会の誘致など、スポーツコミッションの可能性について、研究を進めていきたいと思えます。

議員 7年半前に初めてスポーツツーリズムについて提案しましたが、当時と比べ、現在は良い環境ができつつあります。試合観戦や大会参加に付加価値をつけ

ることで、より長く市内に滞在してもらおうスポーツツーリズムについて、市長の所見を伺います。

市長 これからのまちづくりは、高付加価値化が重要だと思います。クレインサンダーズを核として、付加価値の高いまちづくりを進めていくため、さまざまな仕掛けを考えていきたいと思えます。

議員 官民一体となり、さまざまなスポーツを巻き込んだ取り組みが可能となる太田スポーツコミッションの設立について、所見を伺います。

市長 そういった組織を中心にスポーツによる高付加価値なまちづくりを進めることは非常に重要だと思います。現在、クレインサンダーズに協力いただける団体や企業を中心に後援会を組織しようと考えており、スポーツコミッション設立の足掛かりになればと思えます。

■その他の質問
・本市職員のハラスメント対策について
・市長の市政運営について

委員会では

次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果について、定例会最終日に行われた委員長報告から要旨を抜粋してお知らせします。

総務企画委員会

■太田市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

問 本条例の改正による防疫作業手当の支給方法への影響について伺います。

答 支給方法は従前どおりです。

問 防疫作業手当の支給実績について伺います。

答 今年度の4月、5月において、延べ234人に142万3,000円を支給しました。

審査結果 原案可決

■太田市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市市税条例の一部改正について

問 均等割および所得税の非課税限度

額における国外居住親族の取り扱いの見直しに伴い、扶養親族の範囲から除外となる人数の見込みと、除外することとなった経緯について伺います。

答 現在、国外居住親族については、扶養控除の判定に際して送金関係書類や親族関係書類等を提出していただいておりますが、具体的な人数の把握はしていません。国外居住親族の扶養控除の判断は国内源泉所得の有無により行いますが、実際には国外において一定の所得を得ているケースがあることから、今回の改正では30歳から70歳未満の国外居住親族について、要件に該当する者以外は扶養親族の範囲から除外することになりました。

問 国外居住親族に係る居住の判定時期について伺います。

答 年齢の判定と同様、その年の12月31日現在で判定します。

審査結果 原案可決